

地震の備え 大丈夫ですか？

大口町を含む愛知県は、南海トラフ巨大地震の被害想定エリアに含まれており、内閣府の想定では、大口町でも最大震度6弱（一部6強）といわれています。

地震への備え

1 自分の身を守る対策を

自宅の耐震補強を進めましょう

特に昭和57年4月以前（旧建築基準法）の建物は、一度耐震診断をしましょう。部屋（寝室など）の耐震補強も効果的です。

家具転倒防止対策をおこないましょう

タンスなど自分の背丈と同じぐらいの家具は要注意です。転倒防止グッズや止め金具で家具を固定しましょう。

本棚、テレビなども転倒防止を

自宅の中には、危険がいっぱいです。今一度チェックしましょう。



4月14日(木)、熊本県を中心とした大きな地震が発生、翌々日16日(土)未明も大きな地震が発生し、それ以降も熊本県付近では余震が続きました。

この地震で、断層付近の家屋の倒壊、土砂崩れなどで大きな被害が起き、電気やガス、水道など日常生活で重要なライフラインへも大きな影響が出ました。

大口町でも、南海トラフ巨大地震が予測されています。今一度、各家庭で地震への備えをおこないましょう。

2 いざという時の備えを

食料、飲料水など備蓄品をそろえましょう

大きな地震では、被害のエリアも大きくなり、ライフライン被害や物資等がなかなか届かないことが想定されます。1週間程度の食料や水の備蓄をしましょう。

流通備蓄

非常食など特別なものでなく、乾麺やインスタント食品は、災害時の食料になりますので、普段から余分に保管することで備蓄食料になります。

※ 常備薬、おむつやミルクなど、家族に必要な物も備蓄品に加えましょう。

家族との連絡方法や待ち合わせ場所を

地震など災害時は通話が集中し、電話が繋がりにくくなります。各社の伝言ダイヤルや、避難した際の待ち合わせ場所などを決めておくことと家族の安否確認がしやすくなります。

固定電話、携帯電話の各社で「災害伝言ダイヤル171、災害伝言板、災害用音声サービス」などがありますので各社のホームページなどを確認しましょう。

食料や水は
1週間分を
備蓄



愛知県 家庭でできる地震対策

検索

総務省 災害伝言ダイヤル

検索

問合せ先 町民安全課 ☎95-1966



平成28年度まちのカレンダー
P37～P40(防災のページ)